

2019年度

# I Tエンジニア科 講義計画集

— 第2学年 —

氏名

---

.....  
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051  
.....



2019年度 (平成31年度) 年間計画表

2019.2.18現在

前期					後期									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1月 始業式・ガイダンス 卒業対象生健診	1水 天皇の即位の日	1土	1月 月12回	1木	1日	1火 火4回	1金 金8回 ひろえは船橋	1日 B検シヨブパス	1水 元日	1土	1日			
2火 卒業対象生健診	2木 国民の休日	2日	2火 火12回	2金	2月 職員研修(休館)	2水 水4回	2土	2月 月9回	2木	2日	2月			
3水 新入生 オリエンテーション	3金 憲法記念日	3月 月8回	3水 水11回	3土	3火	3木 木4回	3日 文化の日	3火 火11回	3金	3月 月15回	3火 学内企業説明会			
4木 入学式	4土 みどりの日	4火 火8回	4木 木12回 体育祭	4日	4水 部 活動 合同 合宿	4金 金4回	4月 振替休日	4水 水12回	4土	4火 後 期 試 験 火16回	4水			
5金	5日 子どもの日	5水 水7回	5金 金12回	5月	5木 オープンキャンパス	5土	5火 火7回	5木 木13回	5日	5水 水17回	5木 卒業生登校日			
6土	6月 振替休日	6木 木8回	6土	6火	6金	6日	6水 水8回	6金 金13回	6月	6木 木17回	6金 卒業式			
7日	7火 火4回	7金 金8回	7日 B検シヨブパス	7水	7土	7月 月3回	7木 木9回	7土	7火	7金 追試	7土			
8月 前期スタート 月1回	8水 月曜振替4回	8土	8月 月13回	8木	8日	8火 火5回	8金 金9回 漢検 ひろえは船橋予備	8日	8水 水14回	8土	8日			
9火 火1回	9木 木4回	9日 午前免除試験	9火 火13回	9金	9月 後期スタート 月1回	9水 水5回	9土	9月 月10回	9木 月曜振替11回	9日	9月			
10水 水1回	10金 金4回	10月 月9回	10水 水12回	10土	10火 火1回	10木 木5回	10日	10火 火12回	10金 金14回	10月	10火			
11木 木1回	11土	11火 火9回	11木 木13回	11日 山の日	11水 水1回	11金 金5回	11月 月6回	11水 水13回	11土	11火 建国記念の日	11水			
12金 金1回	12日	12水 水8回	12金 金13回	12月 振替休日	12木 木1回	12土	12火 火8回	12木 就職ガイダンス 就職模試 メイク・写真撮影 就職模試	12日	12水	12木			
13土	13月 月5回	13木 木9回	13土 オープンキャンパス	13火 受付 業務 停止	13金 金1回 未内定者ガイダンス	13日	13水 水9回	13土 オープンキャンパス	13月 成人の日	13水	13金 卒業研究発表会	14土 オープンキャンパス		
14日	14火 火5回	14金 金9回 漢字検定 県民の日 オープンキャンパス	14日	14水	14土	14月 体育の日	14木 木10回	14土	14火 火13回	14金	14土			
15月 月2回	15水 水4回	15土	15月 海の日	15木	15日	15火 火6回	15金 金10回	15日	15水 月曜振替12回	15土	15日			
16火 火2回	16木 木5回	16日	16火 火14回	16金	16月 敬老の日	16水 水6回	16土	16月 全校 旅行	16木 木14回	16日	16月			
17水 水2回	17金 金5回	17月 月10回	17水 水13回	17土	17火 火2回	17木 木6回	17日	17金 金15回 漢字検定	17月 就職ガイダンス 先輩体験談 集団面接練習	17火	17火			
18木 木2回	18土	18火 火10回	18木 木14回	18日	18水 水2回	18金 金6回	18月 月7回	18土	18木	18火	18水			
19金 金2回	19日	19水 水9回	19金 金14回	19月	19木 木2回	19土	19火 火9回	19木	19日	19水	19木			
20土	20月 月6回	20木 木10回	20土 就職・保護者ガイダンス	20火 成績発表	20金 金2回	20日 国家試験	20水 水10回	20金	20月 月13回	20木 卒業生成績発表	20金 春分の日			
21日 国家試験	21火 火6回	21金 金10回 未内定者ガイダンス	21日	21水	21土 オープンキャンパス	21月 月4回	21木 木11回	21土	21火 火14回	21金 在籍生成績発表	21土			
22月 月3回	22水 水5回	22土	22月 月14回	22木	22日	22火 即位礼正殿の儀	22金 金11回	22日	22水 水15回	22土	22日			
23火 火3回	23木 木6回	23日	23火 火15回	23金 体験入学	23月 秋分の日	23水 水7回	23土	23月	23木 木15回	23日	23月			
24水 水3回	24金 金6回 未内定者ガイダンス	24月 月11回	24水 水14回	24土	24火 火3回	24木 木7回	24日	24火	24金 金16回	24月 振替休日	24火			
25木 木3回	25土	25火 火11回	25木 木15回	25日 前期 試験	25水 水3回	25金 金7回	25月 月8回	25水	25土	25火	25水			
26金 金3回	26日	26水 水10回	26金 金15回	26月	26木 木3回	26土 若幸祭前日準備	26火 火10回	26木	26日	26水	26木			
27土	27月 月7回	27木 木11回	27土 体験入学	27火 再試発表	27金 金3回	27日 若幸祭	27水 水11回	27金	27月 月14回	27木	27金			
28日	28火 火7回	28金 金11回	28日 午前免除試験	28水	28土	28月 若幸祭振替休日	28木 木12回	28土 受付 業務 停止	28火 火15回	28金 再試発表	28土			
29月 昭和の日	29水 水6回	29土	29月 月15回	29木	29日	29火 若幸祭振替休日	29金 金12回	29日	29水 水16回	29土	29日			
30火 国民の休日	30木 木7回	30日	30火 水曜振替15回	30金	30月 月2回	30水 水曜振替5回	30土	30月	30木 木16回		30月			
	31金 金7回		31水 追試	31土	31木 研修 合宿 木8回		31火	31金 金17回		31火	31火			
					※2日は全教職員研修 参加のため学校閉館					※9日 月曜振替 15日 月曜振替				
												※年間講義回数 月 30回 火 31回 水 32回 木 32回 金 32回		



## ITエンジニア科2学年

本校の教育方針	.....	1
評価について／出欠席ルール	.....	3
FJBネットID登録とメールアドレス	.....	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	.....	4
個人情報保護に関する基本方針	.....	5
2019年度教育目標と検定スケジュール	.....	6
オブジェクト指向プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ	川島 慧	..... 7
シスコネットワーキング演習Ⅰ・Ⅱ	森田 秀明	..... 9
シスコネットワーキング演習Ⅱ	村上 建夫	..... 11
就職講座B	石川 雄介	..... 12
Office演習応用Ⅰ・Ⅱ	平山 慶子	..... 13
UML基礎	小原 和明	..... 15
システム開発演習	小原 和明	..... 16
Androidアプリ作成演習	小原 和明	..... 17
Oracle演習Ⅰ・Ⅱ	須藤 健一郎	..... 18
Linuxサーバー構築Ⅰ・Ⅱ	小林 信彦	..... 20
検定対策応用Ⅰ・Ⅱ	石川 雄介	..... 22
ゲーム制作Ⅰ・Ⅱ	松木 栄一・山口 弘展	..... 24
就職講座A	江川 加津雄	..... 26
ビジネス文書	高橋 豊	..... 27
ソフトウェアテスト基礎	株式会社SHIFT 藤原 考功	..... 28
やってみなはれ演習応用Ⅰ・Ⅱ	石川 雄介	..... 29

## 本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校  
校長 鳥居高之

### 教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

### 勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいます。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

### 人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

#### 元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

#### 3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

## 通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

## エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

## 禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

## 交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 [takatorii@chiba-fjb.ac.jp](mailto:takatorii@chiba-fjb.ac.jp)

以上

## 評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

## 出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
  - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
  - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
  - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
  - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
  - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。



## FJBネットID登録とメールアドレス

### 1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

### 2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

### 3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

## 実習室・インターネット使用上のルール・マナー

### 1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

### 2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

### 3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

### 4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

### 5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

### 6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

### 7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校  
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
  - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
  - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
  - (3) 入学相談および募集活動を行うため
  - (4) 入学選考試験業務を行うため
  - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
  - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
  - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
  - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
  - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
  - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
  - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
  - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之  
047-425-1051  
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省基本情報技術者試験, オラクルマスター, CCENTの合格</li> <li>・情報処理技術者の基礎となる幅広い知識の習得 (システム設計技法, プログラミング技術, データベース利用技術, ネットワーク, 情報セキュリティ)</li> <li>・システム構築に必要な論理的思考能力の向上</li> </ul>
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報、応用情報技術者試験</li> <li>・オラクルマスター(Bronze)</li> <li>・CCENT、CCNA</li> <li>・オラクル認定Javaプログラマ(Bronze)</li> </ul>
1年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報午前免除 or 情報検定(J検)活用2級</li> <li>・Javaプログラミング課題</li> <li>・資格取得数 3つ以上</li> </ul>
2年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オラクルマスター ブロンズ SQL</li> <li>・CCENT</li> </ul>
卒業条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報午前免除 or 情報検定(J検)活用2級</li> <li>・サテファイJavaプログラミング能力認定試験3級</li> <li>・ビジネス能力検定(B検) ジョブパス3級</li> <li>・漢字検定3級</li> <li>・資格取得数 5つ以上</li> </ul>

<方針>

- ①企業に役立つ高度な人材及び良き社会人としての成長を目指す
  - ②プログラミング, 設計技法に加え, ネットワーク, セキュリティの知識を習得し, 多様な資格取得にチャレンジする
  - ③オブジェクト指向の基礎に留まらず, Webアプリ/携帯アプリ開発技術を習得する
- 1年次: 資格取得(座学中心)
- ・基本情報技術者試験合格を第一目標に, IT基礎知識を身につける
  - ・アルゴリズムの授業に力を入れ, プログラミング力を高める
- 2年次: 演習+資格取得
- ・前期にCCENT、後期にオラクルマスターブロンズ(SQL)の取得を目指す
  - ・上位資格のCCNA・応用情報技術者試験の取得講座を実施する
  - ・グループで携帯アプリ開発に取り組み, システムエンジニアやプログラマの仕事への意識を高め, 就職活動に備える
- 3年次: 企業人1年生
- ・自ら調べ考える習慣、問題発見解決能力を身につける
  - ・知識に加え、人と共に働く力や自ら考え行動する力の向上を図る
  - ・プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する

9

		1 学年								2 学年																		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
1	経済産業省 基本情報技術者試験	午前免除▲							GET!						☆													
2	経済産業省 応用情報技術者試験													☆							☆							
3	経済産業省 ITパスポート試験										GET!																	
4	オラクル認定Java(Bronze) サーティファイJava3級										GET!				☆						☆						☆	
5	オラクルマスター(Bronze)																			SQL			GET!		DBA		☆	
6	SEA/J(CSBM)										GET!																	
7	UMLモデリング 技能認定試験L1																									GET!		
8	J検情報活用2級, 1級					GET!																						
9	J検システム試験						GET!			GET!																		
10	CCENT、CCNA																			GET!	CCENT合格者のみCCNA			GET!				
11	漢検3級										GET!				☆							☆				☆		
12	B検ジョブパス3級					GET!				☆										☆						☆		

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	オブジェクト指向プログラミング演習 I	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)	新わかりやすいJava入門編(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	20%	20%	0%	10%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
Java言語の重要概念である「オブジェクト指向」の基礎を徹底的に勉強する Javaプログラミングの実践的な知識を学び、アプリケーション開発の基礎を身に付ける
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
問題解決にあたって、アルゴリズムから実装まで一貫して行える力を養う 2年後期に行われるシステム開発演習で使用する知識・スキルをマスターする
<b>3. 注意点・要望</b>
積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること 自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること
<b>4. 関連科目</b>
オブジェクト指向プログラミング演習 II、システム開発演習

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション インスタンスメソッドとクラスメソッド(1)	授業の目標、進め方及び評価方法の理解 各メソッドの特徴(違い)、実装方法
2	インスタンスメソッドとクラスメソッド(2)	各メソッドの特徴(違い)、実装方法
3	継承(1)	継承(インヘリタンス)の概要(スーパークラス、サブクラス)、継承ツリー
4	継承(2)	継承(インヘリタンス)の概要(スーパークラス、サブクラス)、継承ツリー
5	コンストラクタと継承	継承におけるコンストラクタの特徴、実装方法
6	オーバーライド(1)	オーバーライドの概要、実装方法
7	オーバーライド(2)	オーバーライドの概要、実装方法
8	抽象クラス	抽象クラスの概要・利点、実装方法
9	抽象メソッド	抽象メソッドの概要・利点、実装方法
10	抽象クラス、抽象メソッドの復習	サンプルアプリの作成を通じて抽象クラス、抽象メソッドの理解を深める
11	中間課題(1)	1~9週で学んだ内容を用いたプログラムを2つ完成させる
12	中間課題(2)	1~9週で学んだ内容を用いたプログラムを2つ完成させる
13	パッケージ管理	パッケージ管理の概要、利用方法
14	インポート宣言	インポート宣言の概要、利用方法
15	前期試験期間	効果測定

備考	
----	--

科目	オブジェクト指向プログラミング演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	川島 慧		
テキスト (出版社)			
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	20%	20%	0%	10%	100%		

**1. 授業の概要**

Java言語の重要概念である「オブジェクト指向」の基礎を徹底的に勉強する  
Javaプログラミングの実践的な知識を学び、アプリケーション開発の基礎を身に付ける

**2. 授業の目標(検定取得など)**

問題解決にあたって、アルゴリズムから実装まで一貫して行える力を養う  
2年後期に行われるシステム開発演習で使用する知識・スキルをマスターする

**3. 注意点・要望**

積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること  
自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること

**4. 関連科目**

オブジェクト指向プログラミング演習Ⅰ、システム開発演習

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション 例外処理(1)	授業の目標、進め方及び評価方法の理解 例外処理の概要、利点、実装方法
2	例外処理(2)	例外処理の概要、利点、実装方法
3	コレクション(1)	コレクション(ArrayListクラス)の概要、利点、実装方法
4	コレクション(2)	コレクション(ArrayListクラス)の概要、利点、実装方法
5	インタフェース(1)	インタフェースの概要、利点、実装方法
6	インタフェース(2)	インタフェースの概要、利点、実装方法
7	インタフェース(3)	インタフェースに関する課題提出
8	インタフェース(4)	インタフェースに関する課題提出
9	ポリモーフィズム(1)	ポリモーフィズムの概要、利点、実装方法
10	ポリモーフィズム(2)	ポリモーフィズムの概要、利点、実装方法
11	ポリモーフィズム(3)	ポリモーフィズムに関する課題提出
12	ポリモーフィズム(4)	ポリモーフィズムに関する課題提出
13	中間課題(1)	オブジェクト指向全般に関する課題提出
14	中間課題(2)	コンソールRPGゲームの作成
15	中間課題(3)	コンソールRPGゲームの作成
16	後期試験期間	効果測定
17		

備考

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	シスコネットワークング演習 I	分類	専門科目
担当	森田 秀明		
テキスト (出版社)	徹底攻略Cisco CCNA/CCENT ICND1編(インプレス) 本校のオリジナルテキスト		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

### 1. 授業の概要

シスコ・ネットワークングアカデミーのカリキュラムをベースに、ネットワーク技術者(もしくはネットワークインフラに詳しいシステムエンジニア)として必要とされる知識と技能を修得する

### 2. 授業の目標(検定取得など)

シスコ技術者認定試験(CCENT)の合格

### 3. 注意点・要望

基礎をおろそかにすると、後でつらくなります。予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態にして下さい。学科が指定する期日までにCCENTを取得していない場合、後期より開講するCCNA講座に参加することができません

### 4. 関連科目

ネットワーク構築演習 I

週	テーマ	内容
1	導入、1年次の復習	CCENT試験合格までのスケジュール 確認テスト①受験に向けた復習
2	1年次の復習	確認テスト①受験に向けた復習
3	Ciscoルータの基本設定	ルータ実習(各種設定コマンド)・・・Packet Tracerを使用した実習を行う
4	スイッチングテクノロジー Ciscoデバイスの管理①	スイッチの動作と基本設定、フレーム転送方式 IOS操作、接続診断ツール、IOSバージョンの表示、show interfaceによるトラブル診断
5	Ciscoデバイスの管理②	パスワードによる管理アクセス制御、スイッチのポートセキュリティ、CDP、Telnet debug、IOSのバックアップと再格納、コンフィギュレーションレジスタ、パスワード復旧
6	NTP、スイッチの基本設定 ルーティング①	NTPによる時刻同期、スイッチのLED、スイッチの基本設定とアドレステーブル管理 スタティックルート・デフォルトルートの設定
7	ルーティング② 高度なアドレッシング	ダイナミックルーティング、パッシブインタフェイス、アドミニストレーティブディスタンス ルーティングテーブルの表示、VLSM
8	アクセスコントロールリスト(ACL) DHCP	ACLの概要と動作、ACLの設定コマンド DHCP設定の概要
9	NATとPAT	NAT(静的NAT、動的NAT、PATの設定)
10	VLAN②	VLANの概要、VTP
11	IPv6	IPv6の概要とアドレッシング
12	受験対策	CCENT受験に向けて確認テストを進める
13	受験対策	CCENT受験に向けて確認テストを進める
14	受験対策	CCENT受験に向けて確認テストを進める
15	定期試験	定期試験

備考	通信キャリアでネットワークエンジニアとして勤務していた教員が、ネットワークシステム提案の経験に基づき、ネットワーク技術について講義する
----	---

科目	シスコネットワークング演習Ⅱ	分類	選択科目
担当	森田 秀明		
テキスト (出版社)	徹底攻略Cisco CCNA/CCENT ICND2編(インプレス)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

**1. 授業の概要**

シスコ・ネットワークングアカデミーのカリキュラムをベースに、ネットワーク技術者(もしくはネットワークインフラに詳しいシステムエンジニア)として必要とされる知識と技能を修得する

**2. 授業の目標(検定取得など)**

シスコ技術者認定試験(CCNA)の取得

**3. 注意点・要望**

講座の受講条件として、学科が指定する期日までにCCENTに合格していること

**4. 関連科目**

週	テーマ	内容
1	ルーティングの基礎(VLAN)	CCENTで学習したルーティング技術(スタティックルート、RIP等)の復習 VLANの復習と設定コマンド
2	ネットワークデバイスの管理(1)	Syslog、NetFlow
3	ネットワークデバイスの管理(2)	QOS、Ciscoデバイスの冗長化、ネットワークの仮想化
4	EtherChannel	EtherChannel
5	STP	STP、RSTPの動作
6	ファーストホップの冗長化	HSRP、VRRP、GLBPの特徴と動作
7	WAN(1)	PPP、PPPoE、BGP
8	WAN(2)	VPN、IPSec、DMVPN
9	EIGRP	EIGRP、EIGRP for IPv6
10	OSPF	OSPFの概要、シングルエリアOSPFを使ったネットワーク構成、OSPFv3
11	インフラストラクチャ	IP SLA、IEEE802.1x、AAA、RADIUS、TACACS+、SPAN
12	CCNA受験対策(1)	確認テスト①、②
13	CCNA受験対策(2)	確認テスト③、④
14	CCNA受験対策(3)	確認テスト⑤、⑥
15	CCNA受験対策(4)	見極めA
16	CCNA受験対策(5)	見極めB
17	定期試験	定期試験

**備考**

通信キャリアでネットワークエンジニアとして勤務していた教員が、ネットワークシステム提案の経験に基づき、ネットワーク技術について講義する

科目	シスコネットワークング演習Ⅱ	分類	選択科目
担当	村上 建夫		
テキスト (出版社)	徹底攻略 Cisco CCNP ROUTE 教科書(インプレス ISBN:978-4-8443-3916-8) 徹底攻略 Cisco CCNP SWITCH 教科書(インプレス ISBN:978-4-8443-3838-3)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

### 1. 授業の概要

シスコ技術者認定資格CCNP Routing & Switchingは、世界が認めるネットワークエンジニアの高度資格である。その資格の3科目試験のうち、ROUTEおよびSWITCHの範囲を学習してネットワークの高度な知識を習得する。

### 2. 授業の目標(検定取得など)

CCNP Routing & SwitchingのROUTE、およびSWITCHの合格を目指す。

### 3. 注意点・要望

CCNA認定の有効期限は3年間です。再認定を受けるには、同等レベルか上位レベル試験の1つに合格しなければなりません。CCNP ROUTE試験あるいはSWITCH試験の合格は、CCNA再認定にも、また上位のCCNP認定取得への一歩となる。講座の受講条件として、学科が指定する期日までにCCNAに合格していること

### 4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ROUTE EIGRP	認証、実装、ほか
2	ROUTE OSPF	認証、仮想リンク、実装、ほか
3	ROUTE ルート再配布とルート制御	ルータフィルタリング、PBR、ほか
4	ROUTE BGP	BGPアトリビュート、ほか
5	ROUTE IPv6	IPv6の主要なプロトコル、IPv6への移行技術、ほか
6	ROUTE インターネット接続	VPN概要、ほか
7	ROUTE ネットワーク管理	SNMP、ほか
8	SWITCH キャンパスネットワーク設計	SDM、LLDP、ほか
9	SWITCH キャンパスネットワークアーキテクチャ	VTP、EtherChannel、ほか
10	SWITCH STPの実装	PVRST+、MSTP、ほか
11	SWITCH VLAN間ルーティング	マルチレイヤスイッチ、ほか
12	SWITCH ハイアベイラビリティネットワーク	ポートミラーリングの実装、スイッチの仮想化、ほか
13	SWITCH 冗長プロトコルの実装	HSRP、VRRP、GLBP、ほか
14	SWITCH キャンパスネットワークセキュリティ	AAAの実装、VACL、PVLAN、ほか
15	まとめ	ROUTE、SWITCHまとめ
16	定期試験	
17		

備考



科目	就職講座B	分類	選択科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	これが本当のSPI3だ!【2020年度版】(洋泉社)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

**1. 授業の概要**

就職活動をするにあたって、必要な知識を学ぶ

**2. 授業の目標(検定取得など)**

就職活動に対する意欲を高め、筆記試験や面接試験を突破する力をつける

**3. 注意点・要望**

未来を見据えて、必要な計画を立てる

**4. 関連科目**

週	テーマ	内容
1	授業説明 IT系の職種について	授業概要の説明、 IT系の職種についての必要知識
2	業界、企業研究	業界の動向やニュースなどの研究
3	自己PRの作り方	自分の売り込み方やPRに必要なキーワード
4	履歴書の作成	履歴書の自己PR部分の書き方
5	面接対策	学内個人面接対策
6	面接対策	学内個人面接対策
7	筆記試験対策	SPI(言語系・非言語系)問題演習、CAB・GAB対策
8	筆記試験対策	SPI(言語系・非言語系)問題演習、CAB・GAB対策
9	筆記試験対策	SPI(言語系・非言語系)問題演習、CAB・GAB対策
10	筆記試験対策	SPI(言語系・非言語系)問題演習、CAB・GAB対策
11	集団面接対策	学内集団面接対策
12	集団面接対策	学内集団面接対策
13	業界、企業研究	企業の事業内容や経営方針の研究
14	筆記試験対策	SPI(言語系・非言語系)問題演習、CAB・GAB対策
15	履歴書の作成	履歴書の作成、修正
16	履歴書の作成	履歴書の作成、修正
17	後期試験期間	

備考

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	Office演習応用 I	分類	専門科目
担当	平山 慶子		
テキスト (出版社)	Access2016入門(プリント教材)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	25%	0%	35%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
Excel: 会社でよく使われる機能を中心に、基本機能を確認し、応用機能を学ぶ Access: 基本を学ぶ
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
・Excel: 機能を知っているだけでなく、ビジネスの現場で「使える」「使いこなせる」をめざす ・Access: 仕組みを理解する
<b>3. 注意点・要望</b>
毎回授業で説明した内容に対する問題を出すので、遅刻をしないように注意
<b>4. 関連科目</b>

週	テーマ	内容
1	Excel	授業の年間予定、進め方 書式設定、計算式
2		グラフ
3		表の分析
4		ページ設定
5		論理関数
6		端数処理
7		日付処理
8		データ参照
9		確認テスト
10	Access	テーブル
11		クエリ
12		レポート
13		確認テスト
14		フォーム
15		

備考	
----	--

科目	Office演習応用Ⅱ	分類	選択科目
担当	平山 慶子		
テキスト (出版社)	Excel2016VBA入門(プリント教材)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	65%	0%	0%	35%	100%		

**1. 授業の概要**

Word: ビジネス文書のルールを確認しながら、資料作成に必要な機能を学ぶ  
Excel VBA: マクロ機能の基本を学ぶ

**2. 授業の目標(検定取得など)**

Word: ビジネス文書やマニュアルなどの作成ができるようになる  
Excel VBA: マクロを利用し、Excelの一步進んだ使い方を身につける

**3. 注意点・要望**

毎回授業で説明した内容に対する問題を出すので、遅刻をしないように注意

**4. 関連科目**

週	テーマ	内容
1	Word	スクリーンショット
2		社内文書・社外文書
3		段落書式
4		長文作成時の機能
5	Excel VBA	セルの操作
6		Withステートメント
7		Offserプロパティ
8		罫線の設定
9		シート・ブックの操作、マクロの自動作成
10		ユーザーフォームの利用
11		変数、メッセージボックス
12		Ifステートメント
13		Select Caseステートメント
14		For Nextステートメント
15	後期試験期間	
16		
17		

備考

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	UML基礎	分類	専門科目
担当	小原 和明		
テキスト (出版社)	【改訂版】UMLモデリング技能認定試験 入門レベル(L1)問題集 (技術評論社)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	60%	20%	0%	20%	100%		

### 1. 授業の概要

オブジェクト指向開発で用いられるUMLの代表的な図法の基礎を習得し、各図の書き方と特徴を理解する

### 2. 授業の目標(検定取得など)

WordやExcelを使った「見やすい設計書を作成できるようになる」「納期意識を身に付ける」ことが目標である。「資料の体裁」「内容」「提出期限」等において、「言い訳」をしないで済むようにすることが第一歩です。

### 3. 注意点・要望

テーマごとに課題を出します。就職活動との両立が必要です。  
SEの仕事に必要な視点を意識して、取り組んでください【設計書の提出期限は厳守！】

### 4. 関連科目

システム開発演習、卒業研究

週	テーマ	内容
1	企業人としての基本事項	企業の業務活動、組織構成、オフィス環境、資料作成など
2	第1章 オブジェクト指向の基本概念	システム開発の流れ、開発モデル、UMLの歴史、UMLのダイアグラム、モデリング
3	第2章 要求モデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
4	第2章 要求モデリングの前提知識	【課題1 ユースケース図】
5	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
6	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	【課題2 アクティビティ図】
7	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
8	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	【課題3 シーケンス図の作成】
9	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
10	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	【課題4 オブジェクト図】
11	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
12	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	【課題5 クラス図】
13	第4～7章 振る舞いモデリングの前提知識	概要、目的、表記方法
14	前期の振り返り	前期のまとめ。システム開発で最も大切なことは何か。各自で考える
15	前期試験期間	

備考	
----	--

ITエンジニア科	2年
----------	----

【後期】

科目	システム開発演習	分類	専門科目
担当	小原 和明		
テキスト (出版社)	Monacaで学ぶはじめてのプログラミング～モバイルアプリ入門編～(アシアル株式会社) 確かな力が身につくJavaScript「超」入門(SBCreative)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	8
	0%	0%	60%	20%	0%	20%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
システムエンジニア・プログラマの仕事に関する実務的な演習として、グループごとにシステム(Androidアプリ)の開発を行うことにより、システムの開発工程の実践と成果物のプレゼンテーション方法を学ぶ。
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
システム開発ではプログラミング能力やITスキル以上に、顧客視点、プレゼンテーション能力、設計能力、見やすい資料の作成、管理能力、チームワーク、問題解決力が重要であり、本授業を通してそれらを身に付けることを目標とする。
<b>3. 注意点・要望</b>
システムの完成だけに捉われず、社会人としてどういった行動を取るべきかを常に意識して取り組んで欲しい。具体的には、「チームに対して自分から発信する」「作業に優先度をつける」「問題発生時に速やかに報告する」などを意識すること。
<b>4. 関連科目</b>
Androidアプリ作成演習、UML基礎

週	テーマ	内容
1	企画・分析工程	現状調査、課題の発見、システムの提案
2	企画・分析工程	ターゲット層、開発コンセプトの設定、開発する商品(アプリ)の魅力を伝える
3	プロトタイプシステムの実装	画面のプロトタイプを作成
4	プロトタイプシステムの実装	設計書やプロトタイプ画面を元に、アプリの動作を実装
5	プレゼンテーション	プロトタイプアプリを使い、企画案、画面・機能のプレゼンテーションを行う
6	設計工程	画面、機能、動作の見直しを行い、システムのブラッシュアップを図る
7	設計工程	画面、機能、動作の見直しを行い、システムのブラッシュアップを図る
8	設計工程	画面遷移図、クラス図などの設計書の作成および技術調査
9	設計工程	画面遷移図、クラス図などの設計書の作成および技術調査
10	中間報告	システム開発状況の中間報告のプレゼンテーションを行う
11	開発工程	設計書を元にシステム開発を行う
12	開発工程	設計書を元にシステム開発を行う
13	開発工程	設計書を元にシステム開発を行う
14	開発工程	設計書を元にシステム開発を行う
15	テスト工程	設計書を元にシステム開発を行う
16	完成報告	システム完成報告プレゼンテーション
17	後期試験期間	

備考	業務システム開発経験のある教員が、スマホアプリの企画から実装までの演習を行う
----	--

科目	Androidアプリ作成演習	分類	専門科目
担当	小原 和明		
テキスト (出版社)	Monacaで学ぶはじめてのプログラミング～モバイルアプリ入門編～(アシアル株式会社) 確かな力が身につくJavaScript「超」入門(SBCreative)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	60%	20%	0%	20%	100%		

### 1. 授業の概要

Androidアプリ(ハイブリッドアプリ)作成に必要な「HTML5」、「CSS3」、「JavaScript」、「スマホ固有機能の使い方」などを学び、スマホアプリを開発する力を身に付ける

### 2. 授業の目標(検定取得など)

自力でモバイルアプリの設計からコーディングまで行えることを目標とし、様々なサービス(WEB API)の利用方法を調べる力をつけてほしい。

### 3. 注意点・要望

- (1)とにかく考えながら手を動かしてもらうため、エラーが出ても焦らず何度も修正を加えること
- (2)一定レベルのモバイルアプリを作れるよう、しっかり復習を行うこと(以前に習った技術を何度も使うため)

### 4. 関連科目

システム開発演習、UML基礎

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション、monacaの使い方、HTML入門	授業の目標並びに進め方の説明、各プログラミング言語の概要説明、Monacaに搭載されたツール紹介、HTMLの基礎部分を理解する
2	HTML基礎	サンプルアプリ作成を通じ、HTMLコーディングに慣れる
3	HTML応用	課題を複数こなし、コーディング力を向上させる
4	CSS入門、基礎	CSSの基礎部分を理解し、その後サンプルアプリ作成を通じ、CSSコーディングに慣れる
5	CSS基礎、応用	引き続きサンプルアプリの作成を行い、終了後課題を複数こなし、コーディング力を向上させる
6	中間課題制作	引き続き課題を複数こなし、コーディング力を向上させる
7	JavaScript入門、基礎	JavaScriptの基礎部分を理解する、条件分岐、関数
8	JavaScript基礎	イベント、DOM、フォーム、演算子
9	JavaScript基礎	配列、繰り返し、ハードウェア機能の使い方(位置情報取得・加速度センサー)
10	JavaScript応用	サンプルアプリ作成を通じ、WEBアプリ作成手法に慣れる
11	JavaScript応用	サンプルアプリ作成を通じ、WEBアプリ作成手法に慣れる
12	前期確認課題制作	指示に則り、複数のアプリ作成を行う
13	前期確認課題制作	指示に則り、複数のアプリ作成を行う
14	前期確認課題制作	後期に向けての企画作成を行う
15	前期試験期間	

### 備考

科目	Oracle演習 I	分類	専門科目
担当	須藤 健一郎		
テキスト (出版社)	スッキリわかる SQL 入門ドリル215問付き! (インプレスジャパン)		
参考資料	プリント教材、データ教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	15%	5%	30%	100%		

## 1. 授業の概要

Oracleデータベースを通じて、SQLへの理解を深める

## 2. 授業の目標(検定取得など)

自身でデータベースシステムを作成し、SQLを使いこなせるようにすること

## 3. 注意点・要望

卒業研究や各種システム開発関連科目に必要なデータベースの知識習得を行う  
判らないまま先に進めず、1つ1つ確認し、使いこなせるようにすること

## 4. 関連科目

Oracleデータベース設計(1年次)、Oracle演習 II

週	テーマ	内容
1	ガイダンスと表の作成 【教科書10章】	1年次の振り返りとOracleデータベースについての概要・利用目的、表作成について CREATE TABLE, DROP TABLE, INSERT INTO, COMMIT
2	データ挿入 【教科書10章】	表作成とデータ挿入、及び、検索について INSERT INTO, COMMIT, SELECT
3	各種制約を含む表作成(1) 【教科書10章】	表にデータを格納し、表を完成させる為の構文を学ぶ PRIMARY KEY, FOREIGN KEY, NOT NULL, CHECK, UNIQUE
4	各種制約を含む表作成(2) 【教科書10章】	表にデータを格納し、表を完成させる為の構文を学ぶ PRIMARY KEY, FOREIGN KEY, NOT NULL, CHECK, UNIQUE
5	各種制約を含む表作成(3) 【教科書10章】	表にデータを格納し、表を完成させる為の構文を学ぶ PRIMARY KEY, FOREIGN KEY, NOT NULL, CHECK, UNIQUE
6	各種制約を含む表作成(4) 【教科書10章】	表にデータを格納し、表を完成させる為の構文を学ぶ PRIMARY KEY, FOREIGN KEY, NOT NULL, CHECK, UNIQUE
7	SQLの体型と検索(1) 【教科書1~2章】	SELECT句の基礎と、WHERE句による行の絞り込みと条件式 SELECT, WHERE, 比較演算子, 論理演算子
8	SQLの体型と検索(2) 【教科書3章】	WHERE句による行の絞り込みと条件式 SELECT, WHERE, 比較演算子, 論理演算子
9	検索結果の加工(1) 【教科書4章】	重複行の対策、ソート、集合演算子 DISTINCT, ORDER BY, UNION, MINUS, INTERSECT
10	検索結果の加工(2) 【教科書4章】	重複行の対策、ソート、集合演算子 DISTINCT, ORDER BY, UNION, MINUS, INTERSECT
11	式と関数(1) 【教科書5章】	演算子と単一行関数 DUAL, CASE, 関数
12	式と関数(2) 【教科書5章】	演算子と単一行関数 DUAL, CASE, 関数
13	集計とグループ化(1) 【教科書6章】	グループ化による集合関数の利用 GROUP BY, HAVING, 集合関数
14	集計とグループ化(2) 【教科書6章】	グループ化による集合関数の利用 GROUP BY, HAVING, 集合関数
15	集計とグループ化(3) 【教科書6章】	グループ化による集合関数の利用 GROUP BY, HAVING, 集合関数

備考

科目	Oracle演習Ⅱ	分類	専門科目
担当	須藤 健一郎		
テキスト (出版社)	スッキリわかる SQL 入門ドリル215問付き! (インプレスジャパン)		
参考資料	プリント教材、データ教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	15%	5%	30%	100%		

### 1. 授業の概要

前期に学習した内容に加え、さらにORACLE MASTER BronzeSQLを目指し、SQLへの理解を深め、より複雑な操作をマスターする

### 2. 授業の目標(検定取得など)

最終目標は、顧客の要望からデータ設計を行い、データベース化を実施できるようにすること  
ただ、SQLを打てるだけでなく、要望をシステム化できるだけの

### 3. 注意点・要望

前期に続いて、卒業研究や各種システム開発関連科目に必要なデータベースの知識習得を行う  
判らないまま先に進めず、1つ1つ確認し、使いこなせるようにするのみならず、試験への合格を目指す

### 4. 関連科目

Oracle演習Ⅰ

週	テーマ	内容
1	ガイダンスと前期チェックテスト	後期の流れの説明と前期の知識を確認するテストを実施
2	副問合せ(1) 【教科書7章】	ただのSELECT句だけではできない、SELECT句のネストSELECT
3	副問合せ(2) 【教科書7章】	ただのSELECT句だけではできない、SELECT句のネストSELECT
4	副問合せ(3) 【教科書7章】	ただのSELECT句だけではできない、SELECT句のネストSELECT
5	結合(1) 【教科書8章】	リレーションと結合について学ぶ OUTER JOIN, LEFT, RIGHT, FULL, ON, INNER
6	結合(2) 【教科書8章】	リレーションと結合について学ぶ OUTER JOIN, LEFT, RIGHT, FULL, ON, INNER
7	結合(3) 【教科書8章】	リレーションと結合について学ぶ OUTER JOIN, LEFT, RIGHT, FULL, ON, INNER
8	トランザクション(1) 【教科書9章】	トランザクションについて理解する COMMIT
9	トランザクション(2) 【教科書9章】	トランザクションについて理解する COMMIT
10	さまざまな支援機能(1) 【教科書11章】	支援機能への理解 INDEX, VIEW, SEQUENCE, バックアップ
11	さまざまな支援機能(2) 【教科書11章】	支援機能への理解 INDEX, VIEW, SEQUENCE, バックアップ
12	システムとデータベース(1) 【教科書12章】	システム開発の流れから見るデータベース作成実習
13	システムとデータベース(2) 【教科書12章】	システム開発の流れから見るデータベース作成実習
14	システムとデータベース(3) 【教科書12章】	システム開発の流れから見るデータベース作成実習
15	データベースシステムの開発(1)	顧客の要望をデータベース化していく実習授業
16	データベースシステムの開発(2)	顧客の要望をデータベース化していく実習授業
17	データベースシステムの開発(3)	顧客の要望をデータベース化していく実習授業

備考



ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	Linuxサーバー構築 I	分類	専門科目
担当	小林 信彦		
テキスト (出版社)	できるPRO CentOS 7 サーバー (インプレスジャパン)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	10%	50%	10%	0%	30%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
Linux(CentOS)によるサーバの構築を行う。インストール、基本操作、セキュリティや管理について演習を行う。
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
Linuxの基本操作・設定を身につける。
<b>3. 注意点・要望</b>
授業内で進捗状況の確認と小テストを行う。仮想環境のインストールの都合上、座席は出席番号順で固定とする。
<b>4. 関連科目</b>

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容と進め方、課題の提出法などについて・Linuxの位置づけ
2	インストール	ディストリビューション、インストール作業
3	基本設定	CentOSの基本的な設定とターミナル操作
4	基本操作1	リモート接続
5	基本操作2	基本的なコマンドによる操作1
6	基本操作3	基本的なコマンドによる操作2
7	基本操作4	基本的なコマンドによる操作3
8	基本操作5	基本的なコマンドによる操作4
9	基本操作6	確認
10	システム管理とセキュリティ1	管理者とユーザー管理
11	システム管理とセキュリティ2	システム管理
12	システム管理とセキュリティ3	アクセス権限
13	システム管理とセキュリティ4	パケットフィルタリングとSELinux
14	システム管理とセキュリティ5	確認
15	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	Linuxサーバー構築Ⅱ	分類	専門科目
担当	小林 信彦		
テキスト (出版社)	できるPRO CentOS 7 サーバー (インプレスジャパン)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	10%	50%	10%	0%	30%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>		
基本の確認と各種サーバー構築・設定を行う。		
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>		
基本の確認と各種サーバー構築・設定を行う。		
<b>3. 注意点・要望</b>		
授業内で進捗状況の確認と小テストを行う。仮想環境のインストールの都合上、座席は出席番号順で固定とする。		
<b>4. 関連科目</b>		
週	テーマ	内容
1	前期の復習	前期の復習
2	前期の復習	確認
3	環境の構築1	サーバー用にCentOS環境の再構築を行う
4	環境の構築2	コマンド操作による基本的な設定作業1
5	環境の構築3	コマンド操作による基本的な設定作業2
6	サーバ機能の設定1	webサーバー・FTPサーバーの設定1
7	サーバ機能の設定2	webサーバー・FTPサーバーの設定2
8	サーバ機能の設定3	webサーバー・FTPサーバーの設定3
9	サーバ機能の設定4	アプリケーションサーバーの設定1
10	サーバ機能の設定5	アプリケーションサーバーの設定2
11	サーバ機能の設定6	ClamAVのインストール
12	サーバ機能の設定7	DNSサーバーの設定1
13	サーバ機能の設定8	DNSサーバーの設定2
14	サーバ機能の設定9	DNSサーバーの設定3
15	後期試験期間	
16		
17		

備考	
----	--

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	検定対策応用 I	分類	選択科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	徹底攻略Cisco CCNA/CCENT ICND1 編(インプレス) 本校のオリジナルテキスト		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	50%	20%	30%	100%		

### 1. 授業の概要

ネットワーク資格(CCENT)取得を目指す、  
学校オリジナルのプリントや見極め問題を行い、実戦練習を積んだ上で各種ベンダー試験を受験する

### 2. 授業の目標(検定取得など)

シスコ技術者認定CCENTの合格

### 3. 注意点・要望

確認テストを行っていきますので、予習・復習をしっかり行うこと

### 4. 関連科目

シスコネットワークング演習

週	テーマ	内容
1	CCENT対策	動機づけ、OSI参照モデル、LAN、物理層
2	CCENT対策	データリンク層、レイヤ2テクノロジー、IPアドレス計算
3	CCENT対策	IPアドレス計算、LANセグメント化、ネットワーク層
4	CCENT対策	ネットワーク層からアプリケーション層まで、TCP/IPモデル、ルータ
5	CCENT対策	パケットトレーサーを使った実習、テスト(1)の準備・実施
6	CCENT対策	テスト(2)の準備・実施、ネットワークデバイスの管理とセキュリティ
7	CCENT対策	Catalystスイッチの導入、テスト(3)の準備
8	CCENT対策	テスト(3)の実施、IPv4アドレスとサブネット、WAN接続
9	CCENT対策	シングルエリアOSPF、テスト(4)の準備
10	CCENT対策	テスト(4)の実施、VLANとVLAN間ルーティング
11	CCENT対策	テスト(5)の準備・実施、スイッチ動作及びARPの復習
12	CCENT対策	見極めテストの準備・実施、問題演習
13	CCENT対策	直前対策問題演習、コマンド総合演習
14	CCENT対策	直前対策問題演習、コマンド総合演習
15	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	検定対策応用Ⅱ	分類	選択科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	徹底攻略Cisco CCNA/CCENT ICND1編(インプレス) 本校のオリジナルテキスト		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	0%	50%	20%	30%	100%		

**1. 授業の概要**

ネットワーク資格(CCENT)取得を目指す、  
学校オリジナルのプリントや見極め問題を行い、実戦練習を積んだ上で各種ベンダー試験を受験する

**2. 授業の目標(検定取得など)**

シスコ技術者認定CCENT、CCNAの合格

**3. 注意点・要望**

確認テストを行っていきますので、予習・復習をしっかりと行うこと

**4. 関連科目**

シスコネットワークキング演習

週	テーマ	内容
1	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
2	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
3	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
4	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
5	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
6	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
7	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
8	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
9	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
10	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
11	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
12	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
13	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
14	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
15	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
16	CCENT対策,CCNA対策	CCENT,CCNAの取得に向けた問題演習
17	後期試験期間	

備考

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	ゲーム制作 I	分類	選択科目
担当	松木 栄一・山口 弘展		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	Web等		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	60%	0%	0%	40%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
コンピューターゲームの制作に関する講義と演習
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
ゲーム制作を題材にデータ構造やアルゴリズムへの理解を深めるとともに、各種メディアデータを扱う知識と技術を身につける
<b>3. 注意点・要望</b>
<b>4. 関連科目</b>

週	テーマ	内容
1	導入	授業解説、環境構築等
2	コンピューターゲーム概論	コンピューターゲームとは、その歴史と分類、背景技術
3	ゲームプログラミング	初歩的なゲーム制作に関わる要素技術
4	CG基礎	コンピューターグラフィックスの基礎知識
5	CG作成・加工演習	グラフィックスソフトを用いた画像作成・加工演習
6	サンプルゲーム制作(1)	サンプルゲーム制作演習
7	サンプルゲーム解説(1)	作成したサンプルの解説
8	サンプルゲーム改良(1)	サンプルを各自で発展させる演習
9	音声基礎	ゲームに於ける音声の扱いについて
10	サンプルゲーム制作(2)	サンプルゲーム制作演習
11	サンプルゲーム解説(2)	作成したサンプルの解説
12	サンプルゲーム改良(2)	サンプルを各自で発展させる演習
13	サンプルゲーム制作(3)	サンプルゲーム制作演習
14	サンプルゲーム解説(3)	作成したサンプルの解説
15	サンプルゲーム改良(3)	サンプルを各自で発展させる演習

備考	
----	--

科目	ゲーム制作Ⅱ	分類	選択科目
担当	松木 栄一・山口 弘展		
テキスト (出版社)	必要に応じ適宜		
参考資料	Web等		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	60%	0%	0%	40%	100%		

### 1. 授業の概要

コンピューターゲームの制作

### 2. 授業の目標(検定取得など)

ゲームの制作を通して知識と技術の向上を図るとともに、自ら設計・計画し成果物を得るまでの過程を経験する

### 3. 注意点・要望

### 4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	導入と計画立案	授業解説、制作課題の構想と計画
2	概要設計	ゲームの概要と外部的仕様から設計に入る
3	詳細設計	内部的仕様を考慮しつつ詳細を詰め、外部設計を調整し具体的な設計を行う
4	初期プレゼンテーション	課題とする制作物の概要を発表、意見・要望の募集
5	計画	具体的なスケジュールリングと制作準備・環境構築
6	制作演習	制作作業
7	制作演習	制作作業
8	制作演習・計画調整	進捗確認と調整、制作作業
9	制作演習	制作作業
10	制作演習	制作作業
11	制作演習・計画調整	進捗確認と調整、制作作業
12	制作演習	制作作業
13	制作演習	制作作業
14	最終調整と発表準備	資料整理と成果物の最終調整、最終発表の準備
15	最終調整と発表準備	資料整理と成果物の最終調整、最終発表の準備
16	最終プレゼンテーション	成果の発表
17	総括	レビューとまとめ、成果物の整理・提出

備考

科目	就職講座A	分類	教養科目
担当	江川 加津雄		
テキスト (出版社)	プリント		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	80%	0%	0%	0%	0%	20%	100%		

**1. 授業の概要**  
 就職活動を控えて、その概要を理解し、自己分析や企業研究ができる力を身につける。  
 また、履歴書やエントリーシートが書ける力、SPIや一般常識などの筆記試験に合格できる力を身につける。

**2. 授業の目標(検定取得など)**  
 人生設計や将来の目標について考え、その経済的基盤でもある就職への意識を持たせる。  
 就職活動を通じて成長できる人間力を養い、講座終了後に、自分で就職活動ができる力をつける。

**3. 注意点・要望**

**4. 関連科目**

週	テーマ	内容
1	就職活動の流れ	講座概要、就職活動スケジュール、自分を生かす就職
2	自己分析1(ジョブカード)	自分史を作成してみる(キャリア・プラン作成補助シート付録)
3	自己分析2(ジョブカード)	自分の個性・性格、仕事を選ぶ上でのこだわり、強みと弱み、など (キャリア・プラン作成補助シート)
4	自己分析3(ジョブカード)	キャリア・プランシート、他人の評価、生活信条、大人の考え、など
5	履歴書の書き方1	全体の注意。学歴・職歴・賞罰、取得資格、得意な科目、長所、スポーツ活動・文化活動、趣味・特技、その他の書き方のポイント。
6	履歴書の書き方2	履歴書を書いてみる
7	企業研究のポイント	求人申込書、青少年雇用情報シート、自己申告書の見方とチェックポイント
8	企業説明会のポイント	企業説明会参加の心構えと準備、就職ナビサイトへの登録
9	電話のかけ方、メールの書き方	電話をかけるときのマナー、電子メールのマナー
10	一般常識	一般常識問題対策
11	SPI適性試験	SPI適性検査対策
12	CAB	CAB試験対策
13	面接試験1	面接試験の種類と流れ、面接試験対策
14	面接試験2	面接の成功例と失敗例
15	面接試験3	グループディスカッション演習
16	内定から入社まで	労働契約、内定承諾書、入社前研修と新入社員研修
17	後期試験期間	効果測定

**備考** 16年の社会人経験と31年の就職指導経験のある職員(職業紹介責任者講習受講済)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う。

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	ビジネス文書	分類	教養科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

<b>1. 授業の概要</b>
実務に役立つ文書作成の知識と技術の全般を学ぶ。また、文章を正しく理解したうえでビジネス文書を作成する。
<b>2. 授業の目標(検定取得など)</b>
文章の正しい理解と文書作成能力の向上を目指し、社会に通用するビジネス文書の作成を目標とする。
<b>3. 注意点・要望</b>
プリントを多く配布するので、きちんとファイリングすること。
<b>4. 関連科目</b>

週	テーマ	内容
1	導入・概要	ビジネス文書の概要と授業の概要を行う。
2	ビジネス文書の役割とその種類	ビジネス文書が果たす役割に関して考察する。 ビジネス文書の種類とその特徴を理解する。
3	文章表現技能①	文章を書く上での基礎となる主語と述語の関係、 指示語や助詞などの使い方を学ぶ。
4	文章表現技能②	簡潔でわかりやすい文章を学び、正確で誤りのない文章を書けるようにする。
5	文章表現技能③	相手に失礼がない文章を、敬語表現を踏まえて学ぶ。
6	ビジネス文書の表記と表現①	ビジネス文書の慣用句とその形式を学ぶ。
7	ビジネス文書の表記と表現②	ビジネス文書の定型文を学ぶ。
8	メール文書	メールの文章の特徴とビジネス文書としてのメールの書き方を学ぶ。
9	社外文書①	社外文書を理解し、その書き方を学ぶ。
10	社外文書②	案内状、通知状の作成。
11	社内文書①	社内文書を理解し、その書き方を学ぶ。
12	社内文書②	報告書、連絡書の作成。
13	儀礼文書	儀礼文書を理解し、その書き方を学ぶ。
14	郵便 文書の取り扱い	郵便の知識と文書の取り扱いについて学び、理解を深める。
15	前期試験期間	

備考	
----	--



科目	ソフトウェアテスト基礎	分類	専門科目
担当	株式会社SHIFT 藤原 考功		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材(株式会社SHIFT作成教材)		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	60%	10%	0%	30%	100%		

### 1. 授業の概要

講義と演習を通じて、ソフトウェアテストの基礎知識及びスキルを身に付ける。

### 2. 授業の目標(検定取得など)

- (1)身近なテーマを通じて、ソフトウェアテストの考え方を身に付ける。
- (2)実務に即した演習を通じて、ソフトウェアテストの技法を知る。

### 3. 注意点・要望

演習を随時設けますので、積極的に参加してください。

### 4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	ソフトウェアテスト・品質(1)	テストの必要性
2	ソフトウェアテスト・品質(2)	テストの実行演習
3	ソフトウェアテスト・品質(3)	身近なテーマで学ぶ「品質とテスト」
4	ソフトウェアテスト・品質(4)	身近なテーマで学ぶ「プロジェクトとテスト」
5	ソフトウェアテストの実務(1)	ブラックボックステスト(同値分割)
6	ソフトウェアテストの実務(2)	ブラックボックステスト(境界値分析)
7	ソフトウェアテストの実務(3)	ブラックボックステスト(デシジョンテーブル)
8	ソフトウェアテストの実務(4)	ブラックボックステスト(組み合わせテスト)
9	ソフトウェアテストの実務(5)	ブラックボックステスト(シナリオテスト)
10	ソフトウェアテストの実務(6)	バグレポートの作成
11	ソフトウェアテストの実務(7)	自動UIテスト
12	ソフトウェアテストの実務(8)	セキュリティテスト
13	ソフトウェアテストの実務(9)	パフォーマンステスト、ユーザビリティテスト
14	ソフトウェアテストの実務(10)	アジャイル開発とテスト、テストとAI
15	授業内効果測定振り返り期間	効果測定への振り返り
16	授業内効果測定期間	効果測定
17	後期試験期間	-

### 備考

QAエンジニアとして勤務経験のある講師が、その経験を絡めて講義を行う

ITエンジニア科	2年
----------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習応用 I	分類	教養科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	社会人基礎力入門書 <a href="http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf">http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf</a>		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

### 1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養う

### 2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

### 3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠  
社会に出る前に真の協調性を学んでほしい

### 4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力入門書を読み、昨年度の反省、改善、今後の成長展望を立てる
2	能力の実践(1)	企画を立てる
3	能力の実践(2)	予算案を作成する
4	能力の実践(3)	企画・予算・収支を発表する
5	社会人基礎力評価(1)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
6	能力の実践(4)	各セクションに分かれて活動
7	能力の実践(5)	各セクションに分かれて活動
8	能力の実践(6)	各セクションに分かれて活動
9	社会人基礎力評価(2)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
10	能力の実践(7)	各セクションの発表
11	能力の実践(8)	各セクションに分かれて活動
12	能力の実践(9)	各セクションに分かれて活動
13	能力の実践(10)	各セクションに分かれて活動
14	社会人基礎力評価(3)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
15	前期試験期間	

備考	
----	--

科目	やってみなはれ演習応用Ⅱ	分類	教養科目
担当	石川 雄介		
テキスト (出版社)	社会人基礎力入門書 <a href="http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf">http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/syakajinkisoryokunyuumonfree.pdf</a>		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

## 1. 授業の概要

前期の内容を踏まえ、経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養う

## 2. 授業の目標(検定取得など)

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調、プレゼンテーション等の資質向上

## 3. 注意点・要望

「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠  
社会に出る前に真の協調性を学んでほしい

## 4. 関連科目

ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	能力の実践(11)	各セクションの発表
2	能力の実践(12)	各セクションに分かれて活動
3	能力の実践(13)	各セクションに分かれて活動
4	能力の実践(14)	各セクションに分かれて活動
5	社会人基礎力評価(4)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
6	能力の実践(15)	各セクションの発表
7	能力の実践(16)	各セクションに分かれて活動
8	能力の実践(17)	各セクションに分かれて活動
9	社会人基礎力評価(5)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
10	振り返り(1)	失敗要因、次年度への改善
11	振り返り(2)	各セクション発表
12	チームワーク(1)	発信力をつけるには
13	チームワーク(2)	傾聴力をつけるには
14	チームワーク(3)	柔軟性をつけるには 状況把握力をつけるには
15	チームワーク(4)	規律性をつけるには ストレスコントロールをつけるには
16	社会人基礎力まとめ	身についた能力と足りない能力
17	後期試験期間	

備考

